

TOPICS

soeasy

コロナ禍において、企業のオンライン研修ニーズが高まっているが、同社の提供しているツール【soeasy buddy】は、スタッフがよりアクティブに利用することを重視したものだ。研修動画をスマホに配信。より見やすいよう、5分以内の短尺動画をおススメしている。また双方向性のSNS機能もあるため、スタッフ自身がいいね！をつけられるなど参加がしやすくなっている。企業から発信する情報に対して、スタッフが質問を投げかける、販売現場での成功事例などを書き込み、それを他のスタッフが評価するといった使い方も、ロープレなどを実践した際、その様子をスマホで撮影し投稿すれば、動画を見ながらトレーナーがチェック、指導などができるのも特徴だ。どのスタッフが視聴したのかはもちろん、スタッフによるこうした投稿頻度やリアクションを管理機能で確認できる。双方向を重視したオンライン教育ツールとして、サービス業を中心にこれまで130社以上への導入実績を持っている。

同社のこのツールを、この春に新たに導入したのが八芳園だ。もともと八芳園は、これまでも複数のITツールを活用した教育、情報共有を実践してき

3~5分程度の短尺動画をスマホに配信し、いつでもどこでも見られる手軽さを追求。さらに視聴したスタッフが自分の発見したことなどを書き込めるSNS機能を加えているため、よりアクティブな参加を促すことのできるオンライン教育ツールが、【soeasy buddy】だ。このコンテンツを企業向けに展開しているsoeasy (東京都千代田区)は、ブライダル業界への積極的な提案も進めている。4月からは八芳園が、同社のツールを活用したオンライン教育をスタート。今号では、八芳園の活用事例を紹介すると共に、ツールの概要も合わせて紹介していく。



soeasy buddy事業部
カスタマーサクセス
栗原元成氏

たというが、今回新たに同社のツールを導入した経緯はどこにあったのか。タイミング的には、まさにコロナ禍による全館休業を迎える時期であった。

「コロナの問題が広がる中で、オンライン動画投稿環境を整えようというのが、導入の理由でもあります。動画投稿の必要性という視点から、2つの課題が

時間もかかるということでした。そこで、当社のツールを活用して研修動画を作成。それを全スタッフで共有していくことになりました。各部門への浸透という点でも、後でスマホを使って何度も見返すことができるため、非常に有意義だと評価してもらいました。」(soeasy buddy事業部カスタマーサクセス・栗原元成氏)

この投稿効果もあり、八芳園は6月12日に認証取得の発表に至った。もう一つの導入のきっかけは、宴会サービススタッフの教育の効率化にあった。一般

句から準備を始めましたが4月にはそれをアップして対応することができました。」(栗原氏)

FSSC22000の全社員への浸透、宴会サービスのオンライン教育コンテンツとしての活用をキッカケにスタートしたが、緊急事態宣言によって八芳園は全館休業となった。事実上、スタッフが集まらない状況になった中で、同社のツールを活用した様々な発信も行われた。

「情報を全社員に伝えることができるという特徴を生かし、マネジメント層からスタッフへのメッセージなども動画配信しました。数値の共有や注意点、さらに訓示なども積極的に発信していました。」(栗原氏)

もう一つ、活用されたのが新入社員の紹介だ。臨時休館はまさに新入社員の入社時期と重なってしまった。スタッフの出勤制限によって、お互いに顔を合わせられない日々が続いてしまうことになる。そこで八芳園では、新入社員の紹介動画、さらに既存スタッフの自己紹介も動画で撮影。それをツールで配信



代表取締役社長
中野 慧氏

していきたいと語る。

「現在は宴会サービスの教育中心ですが、おそらくトレーニングの中身、その動画もさらにアップデートしていくことでしょう。当社としては、さらに目的に即した形で各部門での活用方法も提案できるのではないかと考えています。ブライダル部門などについても、動画とSNS機能を併せることで、成功体験を全社的に共有できるのも大きな特徴ですから。」(栗原氏)

実際に同社のツールを導入するマンション販売の大手企業は、売れた場合の成功要因を社員が投稿。それを全社員で共有することにより、販売ノウハウのアップデートにつながっている。同社の中野慧社長も、企業からの発信だけでなく、現場で気づいたことを会社の財産として積み上げていくことができるのが【soeasy buddy】の強みであると語っている。

八芳園でも動画研修に活用

緊急事態宣言下、SNS機能を使い新入社員紹介も

ありました。一つは、食品衛生マネジメントの国際規格である、FSSC22000の認証を取得するために研修を実施し、その基準を各部門に落とし込み浸透させる全社一丸の取り組みです。関わる全てのスタッフが理解しないといけない重要なナレッジで、項目も多く落とし込みには

的に宴会サービス部門の教育については、マニュアルなどの書面ではなかなか伝えることも難しく、OJTに頼りがちになる。もっともOJT中心になれば、その分コミュニケーションによる側面も大きくなり、人によって教える内容もずれてしまうことが多々ある。アルバイト比率も高く、しかも学生が中心であるため入れ替わりも激しい。外国人スタッフを雇用するケースも増加する中、いかにサービスの質を担保していくかはホテルや専門士場にとって課題と言える。

それを解決するのが、動画を使った教育だ。すでに八芳園は、【八芳園ならではのおもてなし】をしっかりと入れ込んだ、宴会サービスの教育用動画を作成していた。ただ、この動画をオンラインで配信する仕組みを持っていなかったことで、同社のツールを活用することになった。

「もともと動画コンテンツを持っていたことにより、3月下

することにより、コミュニケーションを重ねていった。こうした自己紹介動画も、自宅にいながらにしてスマホで簡単に撮影できる。また双方向のSNS機能があるという特徴を生かした活用法であった。

「慣れない新入社員を、そのまま自宅待機で放置することなく、オンラインであってもコミュニケーションを育み相互理解を進められることもできると、逆に気づかされました。最初の使い方として、こうした方法もあるということは、今後当社としても導入企業に提案していく予定です。」(栗原氏)

動画研修、SNS機能を使った自己紹介という活用を進めていった八芳園。非常事態の状況であったからこそ、全社員への理解も進み、いわば第一フェーズを超えた形だ。今後は八芳園としてもより進化した形での第二フェーズの活用となり、その対応に関して同社も様々な提案を

【soeasy buddy】の特徴

Point 1 “活きたノウハウ”を簡単に伝える動画掲載
「また同じ説明しなきゃいけないの?」「マニュアル読んでも全然わからないよ..」
こうした悩みは、動画を活用して情報を直接伝えることで、解決。スマホをかざして投稿を押すだけ。必要に応じて自動で字幕も表示されるため編集の手間もかからない。

Point 2 タイムリーに情報を集め周知するSNS機能
作り込んだマニュアルのみではなく、常に現場の成功/失敗事例や引き継ぎ情報を収集して周知することが、生産性向上の観点からは重要。#トラブル対応や、#引き継ぎ、#日報など、話題を分けて情報発信/収集が可能。皆が見ている投稿を抽出することで、マニュアルの鮮度を常に高く保つ仕掛けになっている。

Point 3 学習の定着が一目でわかる管理機能
実際に使われているのか、役に立っているのかを分析し、生産性向上にまでつなげてこそ初めて意味がある。個人ごとや動画ごとの学習情報を簡単に確認すると共に、日々の投稿の有益度も算定して、どういったマニュアルを更新していくべきか、示唆を得る管理機能を備えている。



▲宴会サービスの動画を配信(八芳園)

大型モニター付き、サーモグラフィシステム

検温アラームシステム

新型コロナウイルス感染の出口戦略 更なる感染拡大対策として!

低コストで導入できる発熱者自動検知システム・自動アラーム+大画面モニターで人件費削減

- 大型モニター付属
- 温度範囲 30~45℃
- 160 x 120 熱画像解像度
- 簡単設置
- リアルタイムスクリーニング
- 誤差 ±0.1℃
- 警報サイレン
- 光アラーム

体温を可視化する事により、新郎新婦や列席者に安心を提供

リアルタイムスクリーニング | サイネージとして使用可能

■製品本体 / 製品型番:KENON-A-01 サイズ:497(W)x525(D)x1600(H) 重量:40kg モニターインチ数:43inch ■製造:株式会社アズオン

お問い合わせはこちら ▶ **092-263-6022**
株式会社ADLIVE 担当:伊藤まで

販売:株式会社ADLIVE
【Fukuoka Office】福岡県福岡市博多区祇園町8-13-1F
TEL:092-263-6022 FAX:092-263-6023
【Tokyo Office】東京都新宿区西新宿7-4-4-5F
担当:伊藤 080-4952-1204(直通)

ADLIVE